

令和元年度第1回下野市総合計画審議会 会議録

審議会等名 令和元年度 下野市総合計画審議会
日 時 令和元年8月9日（金） 午前10時00分から11時55分まで
会 場 下野市役所 3階 303・304会議室
出席者 中村祐司会長、相澤康男委員、貝木幸男委員、高橋芳市委員、三橋明美委員、伊澤健二委員、佐藤司郎委員、川中子幹彦委員、大島雅之委員、川俣一由委員、諏訪守委員、小幡洋子委員、小池裕昭委員、熊田裕子委員、川田光一委員、佐間田香委員、山口貴明委員、木村保弘委員、近藤勘偉委員、新海将綱委員、前原保彦委員
【欠席委員】江田俊夫委員
市側出席者 広瀬市長、山中副市長、小谷野総合政策部長、梅山総務部長、山中市民生活部長、手塚健康福祉部長、栃本産業振興部長、瀧澤建設水道部長、坪山教育次長
(事務局) 福田総合政策課長、篠崎主幹、相馬主査、ランドブレイン株式会社
公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)
傍聴者 なし
報道機関 なし
会議録作成年月日 令和元年8月23日

1 開会

(事務局) 令和元年度第1回下野市総合計画審議会を開会します。

2 委嘱状交付

(事務局) はじめに、広瀬市長より委嘱状の交付を行います。

[広瀬市長より委員を代表して木村委員へ委嘱状交付]

(事務局) その他の委員の皆様におかれましては、委嘱状を各席に配付させていただいておりますので、ご確認をお願いします。続きまして、委員の皆様より自己紹介をお願いします。

[名簿順に委員の方より自己紹介]

3 市長あいさつ

(事務局) 開会にあたり広瀬市長よりごあいさつ申し上げます。

(広瀬市長) ただ今、委員を代表して木村委員に委嘱状の交付を行わせていただきましたが、各層、各会、各団体においてご活躍されている委員の皆様におかれましては、御多忙の中、総合計画審議会の委員をお引き受けいただいたことに、まずは感謝申し上げます。下野市も合併をして14年目を迎え、3つの町が合併し、一つの市として着実に歩みを進めているところであります。旧町の

アイデンティティを持ちながら、新しい下野市としてのまちを創り上げていき、未来をどのように捉え、それを引き継ぐ世代へ分かりやすく伝えて共にまちづくりをしていくのかという、セカンドステージの段階に突入しています。また、多くの方と意見交換を行いながら、「昔はこうだった」ではなく、「これからこのようなまちにしていきたい」という未来志向でまちづくりを進めていきたいと考えています。そのような中で、本審議会において審議いただくことは、平成27年度に策定した「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき全庁をあげて取り組んでいる本市の地方創生に向けた取組について指標をもとに検証を行うことと、次期総合戦略の策定にあたりご意見、ご提言をいただくこととあります。委員の皆様よりいただいた下野市の未来に向けたご意見、ご提言については庁内組織である下野市地方創生推進本部において検討させていただき、次へつなげる施策に反映できればと思います。現行の総合戦略は本年度が最終年度であり、第2期総合戦略の策定に向けた、いわば架け橋となる役目を担っていただくこととなります。本年度は、計6回の会議を予定しており、委員の皆様におかれましては、御多忙とは存じますがご協力いただきたくお願い申し上げます。先日、東洋経済新報社より発表された「住みよさランキング2019」において、本市は県内第1位、全国第44位と高評価をいただいたところです。ただ、順位に一喜一憂するのではなく、どの部分が評価され、どの部分がまだ足りないのかという視点で指標を見ていかなければなりません。市民がこのまちに住んでいてよかったと幸せを実感できるまちにしていきたいため、一緒にまちづくりを行っていききたいと思いますので、何卒お力添えをお願いいたします。

4 会長選任

(事務局)

続きまして、会長選任を行います。下野市総合計画審議会条例第5条第1項において「審議会に会長を置き、委員の互選により定める」と定められていますので、広瀬市長を仮の議長として、会長の選任をお願いします。

(広瀬市長)

会長が決定するまでの間、進行を務めさせていただきます。会長は委員の互選となっています。委員の皆様のご意見をお願いします。

(川俣委員)

私から宇都宮大学教授の中村祐司委員を推薦させていただきます。

(広瀬市長)

ただいま、宇都宮大学教授の中村祐司委員を推薦するご意見がありました。委員の皆様、いかがでしょうか。

(委員)

<「異議なし」の声>

(広瀬市長)

ありがとうございます。中村祐司委員は、これまでの経緯も熟知しており、経験も豊富でありますので、どうぞよろしく申し上げます。それでは、会長を中村祐司委員に決定することとし、会長が選任されたので、仮議長の任を解かせていただきます。

(事務局)

ありがとうございました。中村会長は、会長の席へのご移動をお願いします。

5 会長あいさつ

- (事務局) 中村会長よりごあいさつをお願いします。
- (中村会長) 会長に選任いただき、誠にありがとうございます。広瀬市長のごあいさつの中でも「全庁をあげて」とのお話がありましたが、総合戦略は地域の知恵を集約し、また、審議会においてはご活躍の委員の皆様のご意見を集約し、下野市の総力をあげて地方創生に取り組むというお話だったと思います。私事ではありますが、新設された地域デザイン科学部も4年目を迎え、学生も下野市や地域の方々のご協力のもと学ばせてもらっており、地方自治を研究する者としても大変勉強になっています。地方創生は国策ではありますが、下野市においても積極的に推進しており、総合戦略における重要業績評価指標（KPI）の指標数が県内では1番多く、これだけ豊富で多岐に及んでいるものは珍しいのではないかと思います。皆様の貴重なご意見から私自身も学び、吸収しながら全力で会長の任を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
- (事務局) 中村会長、ありがとうございます。ここで、審議会条例第5条第3項の規定に基づき、会長の職務代理者のご指名を、中村会長よりお願いします。
- (中村会長) 職務代理者として、公募委員の中から、引き続き委員を務めていただいている前原委員にお願いしたいと思います。
- (前原委員) よろしくお願ひいたします。
- (事務局) ありがとうございます。また、前原委員におかれましては、職務代理者としてどうぞよろしくお願ひいたします。ここで、市長につきましては、公務のため退席とさせていただきます。また、本日は庁内組織である下野市地方創生推進本部より、山中副市長及び関係部長が出席しておりますので、事務局とともに自己紹介をさせていただきます。なお、本日は総合戦略及び総合計画の策定の支援をお願いするランドブレイン株式会社様も出席いただいておりますので、併せて自己紹介をさせていただきます。
- [山中副市長、関係部長、事務局、ランドブレイン株式会社より自己紹介]

6 議 事

- (事務局) 審議会条例第6条に基づき、会長が議長となります。議事進行を中村会長、お願ひいたします。
- (中村会長) はじめに、会議の成立、会議録署名人の確認を行います。本日は出席委員が21名、欠席委員が1名であり、出席者が定数22名の過半数を超えているため審議会条例第6条第2項により会議は成立となります。また、本日の会議録署名人は、慣例に従い名簿順として相澤委員と貝木委員にお願いします。続いて、議題に入る前に、事務局より資料の確認をお願いします。
- (事務局) [配付資料の確認]

(1) 総合戦略における平成30年度のKPIの進捗状況について〈資料1～3〉

- (中村会長) 2時間という限られた時間ではありますが、本日は議題(1)が主の議題となるため、議題(1)に多めに時間を割きたいと思います。委員の皆様も事

前に資料を拝見し、様々なご意見があるかと思えます。極力多くの委員の方に発言をしていただきたいと考えておりますが、総合戦略は多岐にわたっており、やや入り組んだものとなっております。また、新たな委員の方も多くいらっしゃると思いますので、共通認識を図る必要もあることから、事務局からの説明もお願いしたいところです。お一人ずつの発言の時間が十分に取れないかもしれませんが、何卒ご了承ください。それでは、議題（１）「総合戦略における平成30年度の KPI の進捗状況について」。事務局より説明をお願いします。

（事務局） 新たに委員になられた方も多数いるため、総合計画審議会、人口ビジョン、総合戦略、本市における推進体制について簡単に説明させていただきます。

◆下野市総合計画審議会について〈下野市総合計画審議会条例〉

- 今回委嘱をさせていただいた委員の任期は、本日令和元年8月9日から令和3年3月31日までである。
- 総合計画審議会で審議いただく内容は、総合計画の策定、総合戦略の策定及び検証に関することである。
- 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができず、原則公開とし、開催や傍聴の方法等についてはホームページ等で市民にお知らせを行う。
- 会議録については事務局で作成後、各委員へ確認をお願いし、会長及び委員2名の署名をいただくとともに、ホームページで公表する。なお、作成にあたっては各委員の発言は委員名を明記した上で作成・公表する。

◆下野市人口ビジョンについて〈下野市人口ビジョン〉

- 下野市人口ビジョンは本市における人口の現状を分析し、人口問題に関する市民の認識の共有を図るとともに、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示することを目的に、平成27年10月に策定したものである。
- 下野市人口ビジョン48頁に記載のある5つの基本的視点をもとに、本市の目指すべき将来の方向性を定めている。

◆下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について〈下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略〉

- 人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中を是正するため、地方創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、平成27年10月に策定したものである。
- 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略4頁に記載のある4つの基本目標を定め、この目標を達成するための113項目の重要業績評価指標（KPI）を定めている。本日はこの113項目の KPI における平成30年度の進捗状況を報告させていただき、検証をいただくものである。

◆本市における推進体制について〈資料1：推進体制図〉

- 総合戦略における KPI の評価・分析、進捗管理を行っていくため本審議会を開催し、客観的な意見・提言を受ける。
- 市長を本部長とする庁内組織である地方創生推進本部が、本審議会と意見交換を行いながら進める。

○地方創生推進本部の下部組織として関係各課職員で構成する専門部会を組織し、相互に連携しながら進捗管理等を行う。

(事務局) それでは引き続き、平成30年度のKPIの進捗状況について報告させていただきます。「資料2_下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI進捗状況一覧表」をご覧ください。本市ではKPIの数が113項目と多いため、それらを一覧でまとめた資料です。極力数値化することに努め、年度目標に対する実績状況に応じてAからDの評価を行っています。なお、数値化できない項目は、満足度などを指標にしているものであり、現在、市民へのアンケート調査を実施しているところです。それらの項目については、その結果を受けて評価していくこととなります。平成30年度の進捗状況については、数値化できない項目を除いた94項目中、年度目標値に対する達成度が80%以上の項目は全体の9割であり、概ね順調に進んでいるといえます。なお、達成度がD評価の項目は、項目番号23と60の2項目ありました。続いて「資料3_下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価分析シート」をご覧ください。こちらは、113の各項目について、基準値、各年度の目標値と実績値、最終目標値を記載するほか、平成30年度の実績値の分析を記載したものです。備考欄には、過去、本審議会での指摘等を受けて修正した内容等を記載しています。各項目についての説明は時間の都合もあり、省かせていただきますが、KPIの変更がある項目についてのみ説明します。目標値を上方修正した項目は「28_道路改良率」、「68_地域ふれあいサロンの設置数」、「70_認知症サポーター数」になり、これらはすでに最終目標値を達成したため上方修正したものとなります。また、目標値を下方修正した項目は「50_思春期講座開催小中学校数」であり、これは実施方法の見直しにより1校が隔年実施となった関係により見直したものとなります。その他、指標名を変更した項目として「39_パーソナルロボットイベント参加回数」があり、これはパーソナルロボットの契約終了により、指標を「シティプロモーション活動を伴うイベント参加回数」に変更するものです。「78_特定健康診査受診率」は、平成29年度の実績値が確定したため、数値を修正しました。なお、これら修正した箇所については、赤字で記載がされています。

(中村会長) ただいま、事務局よりポイントを絞って説明していただきました。委員の皆様はすでに資料をご覧になっており、特に資料3の内容に関してご意見や質問があるかと思いますが、いかがでしょうか。

(前原委員) 数値目標「生産年齢人口の割合」(1頁)について、下野市は県内4位であるとの記載があるが、これは喜んでよいものなのでしょうか。立地条件などを考慮したときに、下野市は県内でも公共交通の利便性が高いと思います。公共交通の利便性が低い地域が県内にある中で4位というのは、若干低いのではないかと思います。いかがでしょうか。

(中村会長) 県内4位をどのように評価すべきかというご指摘だと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局) 県内の状況についてですが、1位が上三川町(63.9%)、2位が高根沢町(63.0%)、3位が小山市(62.6%)、4位が下野市(62.3%)、5位が宇都宮市(62.1%)となっています。

(小谷野総合政策部長) 上位となっている自治体では区画整理による宅地開発や市外への通勤のしやすさなどが、若い世代の転入や居住に影響し、生産年齢人口の割合が高くなっているものと思われます。本市の県内4位は比較的高いものと捉えています。市としてはこの順位がさらに上がるよう努めていかなければならないと考えています。

(中村会長) ありがとうございます。30年度の実績の報告ですが、これまでの経過を見てのご意見などでも構いません。113項目と多いですが、実績値だけでなく、取組内容や分析の欄に記載されている文章が内容の理解を助けてくれているかと思えます。一点、私から質問させていただきます。上方修正された項目がいくつかありましたが、これはもっと多くても良いのではないかとの印象を持ったのですが、そこは修正を行わずに慎重にいくという理解でよろしいでしょうか。

(事務局) 今回上方修正をさせていただきたい項目は、すでに最終目標値を達成したもののについてです。数値についてもこれまでの4年間の経過等を考慮の上、設定させていただきました。当初の最終目標値を達成した項目について、あまりに高い最終目標値を再設定することで、最終的に未達成とならないよう、妥当な数値として設定しました。

(中村会長) わかりました。最終目標値の設定については、次期戦略の策定に向けて考慮していければと思います。平成30年度の実績が「達成済」となっている項目についても、取組内容や分析の欄に平成30年度の実績、今年度の予定などが記載されている点は、大変参考になると思います。

(貝木委員) 「97_自主防災組織設置数」(35頁)について、実績値が8組織から増えておらず、評価もC評価に下がっています。下野市は災害が少ないと言われてはいますが、全国的にも自然災害は増えています。警察、消防、自衛隊、消防団などが、有事の際には被害の大きい場所で専門に活動される中で、やはりその地区のことをよく知る住民の方で組織する自主防災組織は重要であります。下野市でも組織の設立に向けて行政が動いていることは分かっていますが、どうして増えないのか、またどうしたら増えるのかを考えながら取り組んでいただけたらと思います。

(山中市民生活部長) 安全安心課においても、自主防災組織の設立に向けて働きかけを行っているところですが、南河内地区と石橋地区で8組織という状況です。昨年度についても組織化されていない自治会に働きかけを行うなどし、現在、3つの自治会で設立に向けて動いているところです。また、以前に設立に向けて動いていた自治会にも働きかけを継続して行ってはいますが、自治会によっては、自治会の役員と自主防災組織の役員が重複するなどし、役員の負担が重くなり実現しなかったという事情もあるようです。今年度は1組織でも多く設立できるよう、働きかけや支援を行っていきたいと思います。

- (中村会長) 最終目標値に少しでも近づけるように取り組んでいかれるということですね。
- (佐間田委員) ただいまの自主防災組織について、KPI とは話が少しずれてしまいますが、連日の猛暑の中で夏休み中の子どもたちと過ごしており、もしこのような状況で災害が発生し、電気が止まってしまったら、命を落とす危険があると感じています。自主防災組織を組織するにあたり、いくら上から情報をおろしていても、末端の地域の方の意識が変わらなければ設立は難しいのではないのでしょうか。大きな災害で被害にあわれた地域では、その経験から危機感を持っているからこそ、組織化されているのだと思います。したがって、末端の地域の方に働きかけを行い、危機感を持ってもらうことが必要なのではないのでしょうか。
- (中村会長) アプローチの方法を変えてみるということですね。貴重なご意見だと思います。ぜひ、参考にさせていただきたいです。
- (新海委員) KPI の数値化できないものが19項目あるということで、資料3を見ると、平成27年度から実績値や達成度に「－」が記載されていますが、今後も掲載していくのか、どのように評価をしていくのか、今後の見通しを教えてくださいたいと思います。
- (事務局) 現行の総合戦略における、数値化できない項目については、その多くがアンケート調査による満足度を指標にしているものです。現在、アンケート調査を実施しており、その結果をもって5年間の評価をすることとなります。次期総合戦略については、数値化できるものは極力数値化するとともに、満足度のような指標の扱いについては十分に検討させていただきます。
- (中村会長) 合計特殊出生率（14頁）についてはいかがですか。
- (事務局) 合計特殊出生率については、5年ごとに厚生労働省から発表されますが、現時点では発表がされていないので、発表が出次第記載させていただきます。
- (小谷野総合政策部長) 補足させていただきます。数値化できない項目については、多くが第二次総合計画策定時に行った市民意識調査による満足度を指標としているものになります。市民意識調査のためのアンケート調査は総合計画やその基本計画策定にあわせて5年ごとに実施していることから、毎年度の実績が数値化できていない状況です。現在、来年度予定する総合計画後期基本計画の策定に向けて、7月末を締め切りとした市民意識調査としてのアンケート調査を実施したところであり、集計を進めているところです。次回の本審議会では集計結果の速報値をお示しできるかと思しますので、その結果をもって評価いただくこととなります。
- (山口委員) 「39_パーソナルロボットイベント参加回数」（12頁）の指標を変更したということですが、この点について質問です。まず、平成30年11月で契約更新をしなかった理由をお伺いしたいのと、全国的に活用していたかと思いますが全国的に契約更新がされたのか割合などについて分かりましたら教えてください。もう一点は、この指標を除外した方が良いのか、指標を切り替える方が良いのかを考えた際に、除外しなかった理由をお聞かせください。
- (事務局) 本市においてはパーソナルロボット2台を導入し、シティプロモーション事

業に活用してきました。全国に先駆けて導入したこともあり、導入当初は大変注目を集め、話題性も相まって、イベント会場でも多くの人を集めることができていました。しかし、商業施設など多くの店舗や企業が導入をしたことで目新しさが無くなってしまったこと、市独自のアプリ開発にも費用がかかること、企業用のロボットのため会話にも制限がかかっており特定の言葉にしか反応できないことなどから、PR 効果、費用対効果を考え、更新はしませんでした。全国的にどの程度の自治体が契約を更新したかは分かりませんが、更新するか否かの検討の際には、同時期に導入した自治体に問い合わせ、産業特区や先進技術の活用を重要施策として企業と協定を結ぶ自治体以外では解約するとの回答をいただき、参考にしました。指標を残した理由については、パーソナルロボットはありませんが、各種イベントにおいて PR 活動は現在も継続しており、すでに最終年度を迎えた時点であえて除外をするのではなく残す方が良いと考えたからです。

(山口委員) パーソナルロボットを活用したプログラミングコンテストでも古山小がいいところまで進んだなどと話を聞いていますが。

(坪山教育次長) 市で導入したロボットとは別に、市内の小中学校に無償で3年間ロボットが貸与され、プログラミングの授業に活用できる企業のプロジェクトに応募し、本市が採用され、51台のロボットが導入されています。今年度が3年目となりますが、昨年度のプログラミングコンテストでは古山小や南河内第二中が全国大会に出場するなど、各学校で熱心にプログラミング教育に取り組んでいるところです。

(熊田委員) 先ほど話題になりました「97_自主防災組織設置数」(35頁)についてです。私の住む地区の自治会には自主防災組織はありませんが、昨年、自治会長の方を中心に地区の方たちで防災について話し合う場を設けました。もちろん組織化することが一番良いとは思いますが、組織化するにあたり会長を誰が担うのか、どこに場所を設けて備蓄をするかなど、ハードルが高いのではないかという意見もありました。他の自治会でも同様に、検討はしているが組織化までには至らないという話を聞いています。目標として自主防災組織の立ち上げを掲げることは良いことだとは思いますが、そのような市民の動きも拾っていただき、実績値の数としてカウントできなくとも、取組の欄に一言入れていただくなどしていただくと、嬉しく思います。もう一点、「63_婚活に関するスキルアップ事業数」及び「64_婚活支援事業数」(20頁)の婚活関係の取組についてです。若い人の出会いの場が少ない中で、そのような場を設けて、結婚、出産という良い流れにつながれば素晴らしいことだなと思うので、さらに一歩進んだ「カップル成婚率」などを目標にさせていただけると良いのではないかと思います。

(山中市民生活部長) ご意見ありがとうございます。熊田委員のご指摘のとおり、グリーンタウンの3つの自治会で組織化に向けた動きがあり、その1つの自治会では規約の作成が既に済んでおりますので、今回は、そのような取組もきちんと記載させていただきたいと思っております。

(近藤委員) 「28_道路改良率」(8頁)及び「29_道路舗装率」(9頁)についてですが、「道路修繕にシフトせざるを得ない状況が予想される」と記載があり、私もそのとおりだと感じています。既存の道路も多くの箇所では傷みが出ており、これから修繕が益々増えてくると思いますが、その点をどのように考えているのかお伺いできればと思います。

(瀧澤建設水道部長) 道路改良率については市道について規格に合った道路に改良が進んでいるか、道路舗装率については市道の舗装がどの程度進んでいるかをそれぞれ示す指標となっています。近藤委員のご指摘のとおり、補修の必要な荒れた道路が増えてきています。日々、担当の臨時職員が道路の見回りを行っているほか、市民の方からの連絡などもいただきながら補修を行っています。予算との兼ね合いもあるところですが、市としては必要な箇所については新規の道路の建設も行いますが、既存の道路について補修が必要な場所は度合いに応じて修繕を行ってまいりますので、お気づきの点や情報などがありましたら担当課にご連絡いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(中村会長) ありがとうございます。時間の関係もありますので、議題(1)についてはこれで終了とさせていただきます。

(2) 地方創生関連交付金事業の KPI の進捗状況について〈資料4・資料4参考資料〉

(中村会長) 議題(2)に入ります。はじめに事務局より、ポイントを絞って説明をお願いします。

(事務局) 本市における地方創生の推進に向け、国の地方創生関連交付金を活用し、様々な事業を展開しています。地方創生関連交付金の採択にあたっては KPI を設定することが義務付けられ、その進捗状況を外部委員の皆様へ報告し、検証していただくこととされています。今回は、その進捗状況を報告させていただくものになります。

[資料4参考資料により、交付金活用事業の概要を説明]

[資料4により、KPIについて説明]

(中村会長) 採択を受けている交付金のため、総合戦略の KPI とは異なり、指標の変更等はできませんがいかがでしょうか。資料4を見ると、地方創生拠点整備交付金活用事業については、概ね順調に実績値が伸びていると思います。一点、地方創生推進交付金活用事業であるアニメ活用事業のスタンプラリー参加者数が低いように感じますが、この点はいかがでしょう。

(事務局) 目標値については確かに高くなっていますが、採択に向けて検討した結果定めた目標値となっています。目標値に届いてはませんが、平成29年度の500人に対し、平成30年度は2,060人と着実に伸びている状況です。協力店舗を増やし、コースを変えるなど工夫をしながら飽きさせない取組を継続していければと考えています。

(前原委員) アニメ活用事業における KPI の「20～24歳の転出超過人口」について質問です。平成30年度の実績値が158人と増えており、平成29年度のお

よそ3倍になっていますが、どのようなことが原因として考えられるのでしょうか。

(小谷野総合政策部長) 平成26年が146人、平成27年が134人、平成28年が112人ということで、平成29年の55人が大幅に減っていますが、この理由としては仁良川地区の転入増が大きく影響しているものと考えられます。仁良川地区に新設されたアパートなどに、20～24歳と若い方々が入居し転入が増したため、一時的に平成29年度は転出超過人口が減ったものと捉えています。このような取組は、すぐに効果があらわれるものばかりではありませんので、若い世代をターゲットとした取組を、工夫を重ねながら継続することが必要だと考えています。

(中村会長) 下野市は実に様々なことに取り組んでいると思います。より効果が出るように工夫しながら継続してください。ご意見がないようでしたら、次の議題に移らせていただきます。

(3) 第2次下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について〈資料5・資料6〉

(中村会長) これから、次期総合戦略の策定がいよいよ始まっていきます。本日は、具体的な中身には入りませんが、今後どのような形で策定を進めていくのか説明をしていただきたいと思います。

(事務局) 資料5は、国より発表された次期総合戦略の策定に向けた基本方針について概要をまとめた資料です。この方針を踏まえて、下野市においても次期総合戦略を策定することとなります。以下、ポイントをご説明いたします。

◆国の示した基本方針について〈資料5〉

- 第2期の総合戦略については、第1期の総合戦略において掲げていた4つの基本目標(2頁)の枠組みは維持し、必要な強化を図っていきながら、新たな視点を加えて策定する。
- 新たな視点として6つの視点(3頁)が示され、これらに重点を置いて施策を推進することが求められており、これら6つの視点と4つの基本目標の関連付けを行いながら策定する。
- 新たな6つの視点の具体的な取組については、資料に具体例が示されているが、各自治体の実情を踏まえ検討していく必要がある。

◆本市における策定スケジュールについて〈資料6〉

- 資料6は本市における第2期総合戦略策定に係るスケジュールを示したもので、本審議会は本日の第1回を含めて計6回の開催を予定している。
- 次回の第2回には、現行の総合戦略の総合評価と市の策定方針についてお示しするとともに、現在取りまとめを行っている市民意識調査の結果を報告させていただく予定である。

(中村会長) 下野市の次期の総合戦略の策定についてスケジュール等の説明がありました。委員の皆様からご意見がありましたらお伺いします。

(山口委員) 資料5の2頁に記載のある4つの基本目標の4つ目、「時代に合った地域づくり」という点については、少し違うかなと思います。下野市にとって重要な次期総合戦略を策定するにあたっては、「地域に合った時代をつくる」ということで、まだ見ぬ未来に合せていくのではなく、今まで築き上げた下野市

に合った時代や未来をつくるという視点で、本審議会では検討を進めていければと考えています。

(中村会長) 下野市の総合戦略を策定していくわけですから、そのような視点はとても重要だと思います。

(熊田委員) 今後のスケジュールについてお願いがあります。極力毎回参加したいと考えていますが、仕事の都合もありますので、2か月前には開催日時を教えてくださいただけると調整等もできるかと思っておりますので、早めにお知らせいただければありがたいです。

(中村会長) 委員の皆様も御多忙かと思っております。また、今年度は開催する回数も多いため、事務局もご苦労があるかと思っておりますが、日程については早めのお知らせを心掛けていただければと思います。

(事務局) 承知しました。

(4) その他

(中村会長) 議題(4) その他になります。事務局よりお願いします。

(事務局) 本日、「住みよさランキング2019」のチラシ、8月23日から25日に天平の丘公園で開催される「しもつけ燈桜会」のチラシ、地方創生推進交付金を活用して制作した「マンガで分かる！東の飛鳥『下野市』の歴史」を配付させていただきましたので、参考にご覧いただければと思います。

(中村会長) 委員の皆様から何かございますか。

(山口委員) 「しもつけ燈桜会」の開催にあわせて、同会場において「しもつけフェスティバル」を8月24日と25日の2日間で開催します。ぜひ、ご参加ください。

(中村会長) ご紹介ありがとうございました。議題は以上となります。今年度は次期総合戦略の策定に向けて大変慌ただしくなりますが、委員の皆様の知恵をお借りしながら、良いものを策定していきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

7 閉会

(事務局) 委員の皆様、そして中村会長ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第1回下野市総合計画審議会を閉会します。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長.....

署名委員.....

署名委員.....